

先生方へ

活動報告です。(日々状況が変化しますので、活動中の内容になります)

16日から19日まで石巻にある蛇田中学内の避難所の救護所で武蔵野赤十字の薬剤師とともに薬剤師として活動してきました。成田日赤の救護班には、薬剤師職が編入されており、私も調剤、医薬品管理、ドクターへのアドバイス(限られた医薬品の中でなるべく適切な薬剤選択をする)、お薬の説明等々1日だいたい200-250名程度の患者さんをみていました。

今のドクターは専門性があるのである程度オールラウンドに薬剤のことがわかっている薬剤師は絶対に必要だと思いました。

私のいた時は、蛇田の中学の救護所には、日赤の救護班2個、地元の病院の医師(3名)ご自身被災されて病院は流されてしまい、避難所生活で昼間だけ応援にきてくれています。看護師でした。電気、水道、携帯通話可他の避難所に比べればかなりよい状況です。

現在は、日赤救護班2個、長野県の医療チーム(信大の薬剤師1名含む)、地元の先生で活動中です。今後は、当院の薬剤師が1人だけになるようですが、2名の薬剤師がいないと大変だと思います。

蛇田中学の裏に、イオンのモールがありそこも避難所になっています。ウエルシアがありその薬剤師さんが2名交代で、一般薬を症状に合わせて必要な数を渡していました。そこにもう少し交代の薬剤師さんがいればと思います。

蛇田の救護所は、緑タグの方の救護をしています。かぜ等、それから普段服用していた薬を処方、ただ多くの方がお薬手帳を流されてしまったり、ただ血压の薬を飲んでいたというような説明だけのかたが多くです。患者さんもご本人が来られず代理受診(祖母の薬をもらいに孫の中学生が来たりしていました)、徒歩で3時間かけてきた方など。薬がないと、後日また来てもらったり、あきらめていただくなど、心苦しい場面がたくさんありました。

まだまだ、たくさんあるのですが、書ききれませんのでここまで

今後も、当院の救護班にはすべて薬剤師が付き20名の薬剤師が交代で活動を行います。報道の通り、感染性胃腸炎、インフルエンザ、等が流行し始めそうです。

成田赤十字

高田